**北海道遺産２０年。未来への宝物を繋ぐ**

『担い手のみなさんの今』　質問シート

「繋ぐ」という言葉には、

今、皆さんが引き継ぎ、守り、慈しみながら、地域の資産として活用している地域遺産を、地域で暮らす未来の人々へ“繋いでいく”こと。

「北海道遺産」を共通項に、担い手の皆さんはもちろんのこと、出会った各地域の方々や、ファン・支援者といった様々な人々へと“繋がり”を広げていくこと。

地域の人々のための地域の人々による「北海道遺産」という地域資産活用の理念を未来へ“繋げていく”こと。

これらのことを、担い手の皆さんと一緒に取組んでいきたいという想いを込めました。

今年、北海道遺産20年を迎えるにあたり、皆様の今の声をぜひ聞かせてください。

20周年を記念する広報紙や、北海道遺産協議会のWEBページに地域や担い手の皆さんの近況をご紹介するとともに、今後の北海道遺産協議会の活動を考える上での参考とさせていただきたいと思います。

あなたが担い手として活動している「北海道遺産」をご記入ください。

※複数の「北海道遺産」に関わられている場合は１つの遺産ごとに質問シートを作成していただけると助かります。

　遺産名：

質問１でご記入いただいた「北海道遺産」について、担い手の視点からの“知ってほしい価値や魅力ポイント、アピールしたいこと”等を教えてください。（長文大歓迎！記入欄が足りない場合は別途用紙にご記入いただき添付ください。）

質問１でご記入いただいた「北海道遺産」の見学スポットやガイドさんの有無、体験できるプログラム等を教えてください。

（北海道遺産協議会のWEBページにもいくつか掲載していますが重複していても、まったく別の場所でも構いません）

質問１でご記入いただいた「北海道遺産」に関することで、現在、ご自身が所属する団体で行われている活動やイベントなどを教えてください。（毎年や毎月行っているイベント、あるいは定期的ではないけれど、頃合いを見計らっていつも行っている活動・集まり、清掃活動など、どんなものでもよいのでご記入ください）※特に令和3年度、4年度に予定しているもの（オンラインを含む）はぜひご記入ください。

質問１でご記入いただいた「北海道遺産」にまつわる特に紹介したい「食」や地域の産品があれば教えてください。（例：「空知の炭鉱関連施設と生活文化」⇒なんこ鍋）

北海道遺産に選定された後に変化や効果などはありましたか。感じることがありましたら記載してください。

活動のなかで困っていることがあれば教えてください。

北海道遺産協議会では、2020年度から「北海道ヘリテージラボ」の“オープンラボ”を実施しています。この取組みは、担い手の皆様をはじめとして、地域づくりや地域資産を活用した取組みに関心のある方々の、学び合いや、課題解決のヒントを持ち帰ってもらう場として活動しています。2020年度はオンラインシステムを活用することで道外の講師の方にもご参加いただきました。この“オープンラボ”で、テーマにしてほしいこと、または語り手等がいらっしゃいましたら教えてください。

北海道遺産協議会の理事・役員には、遺産学、観光学の専門家や地域づくり実践者などが在籍しています。また、協議会のネットワークで、その他の専門家等との連携も可能です。今後、講演会の講師や地域遺産活用のアドバイザーなどを北海道遺産協議会から派遣するような仕組みがあれば活用したいですか。どちらかに○をつけてください。

１．活用したい　　　２．今のところ活用する機会はなさそう

1．を選んだ方はどのようなことでしょうか。具体的に教えてください。

その他、北海道遺産協議会に関連するご意見がございましたら、ご自由にお書きください

■ご連絡先等

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 　 |  |
| 役職等 　 |  |
| 氏名 　 |  |
| 電話番号 |  |
| e-mail |  |
| WEBに掲載してよい団体情報 |
| 団体名 　 |  |
| 連絡先（電話やメール） |  |
| WEBサイト |  |

※この北海道遺産に関して一緒に活動している他の担い手団体があればご紹介ください

|  |  |
| --- | --- |
| 団体名 　 |  |
| 連絡先 |  |

＜お願い＞

■画像提供について

・広報紙やWEBページに掲載させていただく、写真のご提供をお願い致します。活動の様子や集合写真などスナップ写真で大丈夫です。データで２～３枚いただけると幸いです。

・「質問4」で食べ物や産品をご記入いただいている場合、その食べ物等のお写真もご提供いただけると助かります。

■取材について

・活動内容を直接お伺いする取材をさせていただく場合があります。取材を担当している、北海道遺産協議会理事からご連絡させていただくことがありますのでご協力いただけますと幸いです。

■ご提出について

**７月９日（金）までに**、メールまたは、FAXでご返信をお願いします。

返信先：　E-mail：info@hokkaidoisan.org　FAX：011-232-4918